

Q&A

Q. どんな人が相談できますか

A. 肢体不自由、視覚障がい、聴覚障がい、病弱・
虚弱、発達障がい等のある学生です。
診断の有無は問いません。

Q. どうすれば相談できますか

A. 電話またはメールで連絡をしてください。
☎025-262-6300 (平日9:00~17:00)
メールは、support-r@ge.niigata-u.ac.jp

Q. 人に知られたくないのですが…

A. 相談内容の秘密は守られます。
支援のための学部等への協力依頼については、
本人の了解が得られる範囲に限られます。

担当するのは、特別支援教育士
スーパーバイザー（発達障がいの
ある方々を支援する専門家）です。

特別修学サポートルーム



*
日頃感じている困難さを聞かせてください。
具体的な支援について本人を交えて、学部の担当者や
キャンパスライフ支援センターの教員と共に考えます。

相談の予約は、電話またはメールで受け付けます。

☎025-262-6300

(受付時間: 平日9:00~17:00)

✉support-r@ge.niigata-u.ac.jp

<http://www.iess.niigata-u.ac.jp/ssc/support.html>



担当者

特任専門員 笠原 清隆
特任専門員 田村 論理枝

場所

総合教育研究棟 D 棟 2 階


リサイクル選性 A
この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2021年3月発行

SIAA
ISO 22196
抗菌加工
抗菌剤: 塩化ベンザルコニウム
JIS Z 2801
SIAAマーク付のISO22196に
よって殺菌された繊維に基づく。
抗菌効果は洗濯回数が増えるにつ
れて徐々に低下する可能性があります。

特別修学 サポートルーム

特別な支援が必要な学生に対して
単位取得に関する対応と
自立に向けた生活のための
支援を行います。

 新潟大学

特別な支援が必要な学生の向学心を支えます

〈新潟大学のサポート体制〉



新潟大学には、学生のみさんのいろいろな悩みや困りごとについての相談に応じられるように、いくつかの相談窓口が設けられています。その中のひとつが「特別修学サポートルーム」です。主に大学生活の中で様々な困難を抱えている学生のサポートをしています。たとえば、

グループワーク、友達との会話、友達づくり、先生との人間関係づくり等に困難さがある。

支援の例

コミュニケーションスキル向上のためのトレーニングを行う。

聴覚障がい、視覚障がいがあり、授業の内容が理解できない。

支援の例

手書き、パソコンによるノートテイクや教科書の電子データ化等の情報保障を行う。

レポートの締め切りが間に合わない。人数の多い教室で定期試験を受けることが不安。

支援の例

レポートの締め切りの延長、定期試験の別室受験を実施する。

こういった困難さのある学生に対して、共に考え、サポートします。ただし、修学をサポートすることで、卒業や単位取得等を保証するものではありません。



〈サポートルーム所在地〉

特別修学サポートルームへ電話かメールを

まずは 025-262-6300

(平日 9:00~17:00)

E-mail support-r@ge.niigata-u.ac.jp